

# 平成20年山梨県観光客動態調査結果 概要

## 調査方法 ～ 全国観光統計基準(日本観光協会)に基づく調査 ～

### 【観光客数調査】 : 787地点

- 観光施設への調査
  - 自然(山岳、湖等)、文化歴史(神社、美術館等)、産業観光(ワイナリー等)、温泉、買い物、イベントなど、県内の観光地や観光施設に対して、来客の利用状況を調査
- データ利用調査
  - 高速道路及び県営有料道路利用状況、道路交通センサス、県警登山者数調査

### 【宿泊客数調査】 : 1,444施設

- ホテル・旅館、民宿、ペンションなど県内の宿泊施設に対して、宿泊客利用状況を調査

### 【アンケート調査】 : 3,465サンプル

- 対面聞き取り方式
- 四季毎に、年4回×県内8箇所調査
- 主な質問項目：性別、年齢、居住地、旅行目的、消費動向、利用交通機関、満足度等

## 平成20年における本県観光の動態動向

### ～ 観光客数・宿泊客数調査結果より ～

・観光客数は47,529千人となり、前年の48,287千人と比べ758千人(1.6%)減少した。宿泊客数は6,314千人となり、前年の6,334千人と比べ20千人(0.3%)減少した。

・前半は、4月～6月に実施した「山梨デスティネーションキャンペーン」などにより、観光客を大幅に伸ばした前年の高水準を維持したが、後半は、ガソリン価格の高騰や世界的な経済不況の影響などにより減少し、全体としては減少となった。

・観光消費額は、宿泊客については、宿泊費を抑える傾向が強まったため、日帰り客については、土産・買物等をはじめ、すべての面で消費を抑える傾向が強まったため、一人当たりの消費額が減少した。

(参考)

※大河ドラマ放送翌年の観光客の伸び率(単位:%)

	鎌倉	石川	下関	高知	平均	山梨
放送翌年	▲3.4	▲4.8	▲7.2	▲5.4	▲5.2	▲7.3
作品年	H13	H14	H15	H18		S63
作品名	北条時宗	利家とまつ	武蔵	功名が辻		武田信玄

H16、H17については、舞台となる場所が多数であるため除外した。

※国土交通省まとめ「主要旅行業者の旅行取扱状況速報(主要旅行業者63社の取扱額の合計) H20年1月～12月国内旅行 前年比 0.3%減

※国土交通省「宿泊旅行統計調査結果(H20年1月～12月:推計値) 全国延べ宿泊者数 前年比 1.05%減、外国人延べ宿泊者数 前年比 1.68%減

※JTB推計 H20年旅行総消費額(国内旅行) 前年比 2.2% 減

### ～ アンケート調査結果より ～

#### ■観光客の居住地

・「県外(外国人含む)」観光客が68.6%、「県内」観光客が31.3%。県外観光客は前年に比べ1.7ポイント減少した。都道府県別でみると、大型観光キャンペーン以前に比べ、東海、近畿以西、新潟・北陸など宿泊を期待できる遠方地域からの割合が増えている。

#### ■観光客の交通手段

・県内、県外を含めた全体での利用交通機関は、「マイカー」(75.1%)が最も多く、次いで「鉄道」(14.6%)、「観光バス」(4.9%)となっている。

#### ■旅行目的(複数回答)

・旅行目的を、「県内」「県外」別にみると、「県内観光客」は「祭り・イベント」(47.7%)が最多で、「県外観光客」は「自然を楽しむ」(35.1%)、「温泉を楽しむ」(30.4%)と続く。

#### ■県外客の訪問頻度

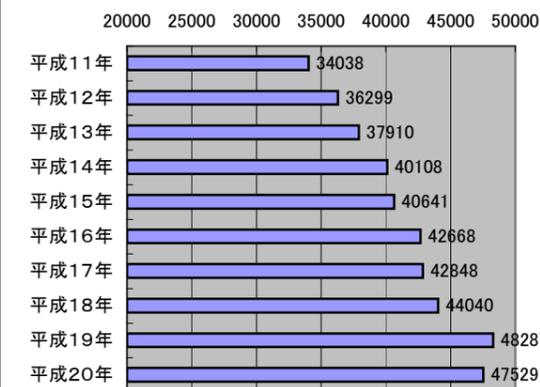
・前年に比べ、「1年に1回以上」及び「今回初めて」などの割合が高くなっている。これは、居住地の分布と考え合わせると、近県からのリピーター客が多いことや、デスティネーションキャンペーンなどをきっかけに、初めて訪れた観光客が増加したことが要因と思われる。

## 観光客数 47,529千人 (前年比 1.6%の減少)

(平成20年1月～12月)

～平成19年に比べ、約758千人の減少～

観光客数 (実人数)	H20年(千人)		H19年(千人)		対前年	
	人数	構成比	人数	構成比	増減	率
峡中	12,864	27.1%	12,551	26.0%	313千人増	102.5%
峡東	7,509	15.8%	8,196	17.0%	687千人減	91.6%
峡南	2,761	5.8%	2,743	5.7%	18千人増	100.7%
峡北	6,966	14.7%	7,550	15.6%	584千人減	92.3%
富士・東部	17,430	36.7%	17,248	35.7%	182千人増	101.1%
外国人観光客数	870		881		11千人減	98.7%

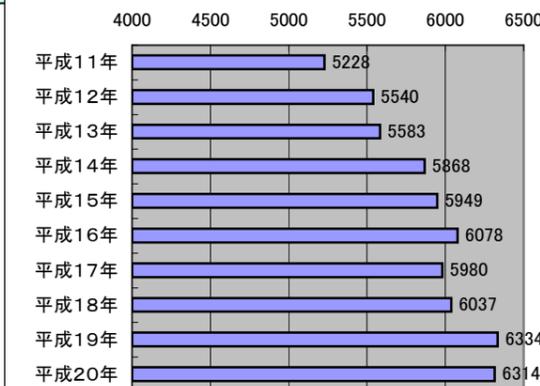


## 宿泊客数 6,314千人 (前年比 0.3%の減少)

(平成20年1月～12月)

～平成19年に比べ、約20千人の減少～

宿泊客数 (実人数)	H20年(千人)		H19年(千人)		対前年	
	人数	構成比	人数	構成比	増減	率
峡中	676	10.7%	673	10.6%	3千人増	100.4%
峡東	1,130	17.9%	1,168	18.4%	38千人減	96.8%
峡南	288	4.6%	299	4.7%	11千人減	96.5%
峡北	760	12.0%	780	12.3%	20千人減	97.4%
富士・東部	3,460	54.8%	3,414	53.9%	46千人増	101.3%
外国人宿泊客数	208		213		5千人減	97.5%



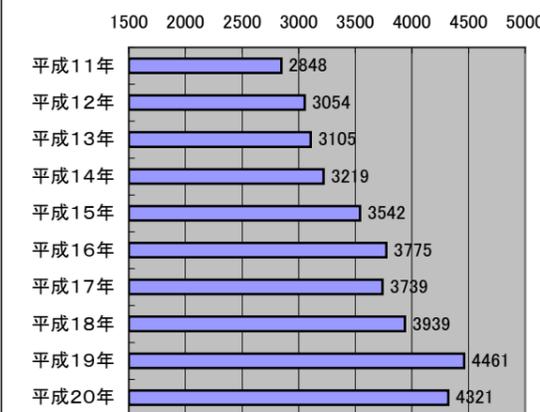
## 観光消費額 4,321億円 (前年比 3.1%の減少)

(平成20年1月～12月)

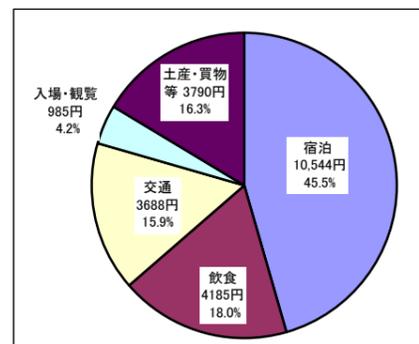
～平成19年に比べ、約140億円の減少～

観光消費額	H20年(億円)		H19年(億円)		対前年	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	率
宿泊	1,463	33.9%	1,495	33.5%	32億円減	97.9%
日帰り	2,859	66.2%	2,966	66.5%	107億円減	96.4%

### 観光消費額推移 単位:億円

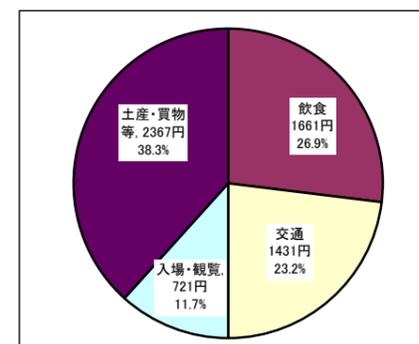


### 宿泊客の平均観光消費額の内訳



合計: 23,192円  
(H19: 23,734円)

### 日帰り客の平均観光消費額の内訳



合計: 6,180円  
(H19: 6,740円)